



4/
14

第3回熊本地震復興チャリティー「希望」

チャリティーin氷川実行委員会主催のチャリティーイベントが氷川町文化センターで行われました。ステージでは合唱や日本舞踊、フラダンスなどで来場者を魅了しました。

なお、このイベントで集まったチケット代など14万6161円は復興のために町へ寄付されました。

4/
17

平和への誓い新たに

氷川町文化センター講堂で氷川町戦没者追悼式を行い、遺族など約110人が出席しました。

式典では遺族代表の北永昭子さん（北野津）の献灯に続き、参加者全員で黙とうを捧げました。

また、氷川町遺族連合会会長の浜田洋さん（西網道）ほか4人が追悼の言葉を述べられ、戦没者に平和を誓いました。



4/
21

第14回いちご杯九州ヘラブナ釣り大会in氷川

不知火干拓貯水池（若洲）において第14回いちご杯九州ヘラブナ釣り大会in氷川を開催し、町内外から97人の参加がありました。

天候も良く温かな日の中での競技となり、水面がやや低く苦戦をしながらも、参加者は大物を狙い腕を競いました。

競技終了後は抽選会が行われたほか、参加賞として和鹿島いちごが配られました。



▲大物が釣れたよ！

4/
24

花を育てて人権を学ぶ ～人権の花運動 種子伝達式～

人権の花運動とは、花の種子を児童たちが協力しながら育てることを通じて、感謝することや生命の尊さ、人権を尊重する心を育むことを目的として、くまもと県南人権啓発活動地域ネットワーク協議会が毎年実施している運動です。今年度は竜北東小学校が実施校として選定されました。

全校児童164人が参加した種子伝達式では、児童代表3人が種子やプランターなどを受け取った後、野口健志さん（6年生）がお礼の言葉を述べました。

その後、人権擁護委員による人権ミニ講座が行われ、困った人がいたときにどのような行動をとると良いかをみんなで考えました。

今後、児童たちにより花を育て、その花から採取した種を地域の皆さんに配布する予定です。



▲児童代表による種子の受け取り



▲みんなで力を合わせて育てます

全国大会等出場報奨金の支給について

氷川町では、生涯学習の振興を図るため、文化やスポーツなどに関する九州大会以上の大会への出場に対して報奨金を交付します。

◆対象者

- 県の代表として九州大会などに出場する人
- 県の代表または九州大会などの結果によりその代表として全国的な競技大会に出場する人
- 日本代表として国際大会に出場する人
- ※町内に在住している人のみに限ります。
- ※氷川町小中学校部活動等大会出場補助金交付要綱に規定する交付対象者を除きます。

◆報奨金額

- 選手または監督など1人1大会につき
- 九州大会・全国的な大会 1万円
- 国際大会 3万円
- ※当該年度の予算の範囲内において支給するため、支給できない場合があります。

◆申込方法

出場する大会要項や出場登録選手名簿などの本人出場が確認できる関係書類（県大会の結果など）をお持ちになり、大会前日までに生涯学習課へ申し出てください。

◆その他

国道3号宮原交差点に出場者を紹介する看板を設置します。

6月1日以後の大会から支給要件などを変更しました。

主な変更点

- ① 九州大会に準じて「南九州大会」などの大会を追加しました。
- ② 国際大会を除く、大会の報奨金を交付する回数を1人年3回までとしました。
- ③ チームで出場する場合に10人を超える場合は、10万円を限度としました。

【お問い合わせ先】 生涯学習課 社会体育係 ☎52-5860

トマト黄化葉巻病のまん延防止にご協力ください！

八代全域でトマト黄化葉巻病、トマト黄化病による被害が増加しています。トマトなどの野菜生産を守るには、農家の努力だけでなく、地域住民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。



コナジラミ類
体長：約1mm
体色：白色
雑草や家庭菜園などに生息

被害を防ぐには

病気の症状が出たまま放置されるとその菜園がトマト黄化葉巻病の強力な感染源となるため、次の方法で確実に処理してください。

- ① 果実が残っていてもすぐに株ごと抜き取る。
- ② 土の中に埋めるか、ビニール袋などに入れ燃えるゴミへ。

「一斉除草」のお願い

以下の期間において、八代全域で「一斉除草」のご協力をお願いします。

実施期間：6月20日(木)～30日(日)

☎ 農業振興課 農産係 ☎52-5854